

いなさの風

No.19



令和6年 11月21日

〒852-8011 TEL095-861-2650

長崎市稲佐町11番1号

長崎市立稲佐小学校長

岡田 政宏



学校教育目標 **たくましく未来を切り拓く子どもの育成**
「なりたい自分になる」 いなさっ子の**学びの多様化**に応える

子どもに夢をみる学びへの挑戦

「いなさの学び」「しゃべり場」を活かして

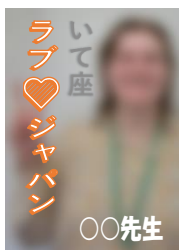
稲佐小では、子どもの主体的な三人発表でめあてにつなげていく「いなさの学び」、自分の思いを対話で深める「しゃべり場」という活動を継続的に行っています。

稲佐小は、令和4・5年度に長崎市教育委員会の研究指定を受け、特別活動を要とした学力向上推進研究を進めてきました。こうしたこれまでの長年の研究を通して受け継がれてきた学びのスタイルがあります。その一つが「いなさの学び」です。これは、全員挙手（今から〇〇の勉強を始めます。）、三人発表（前の時間は〇〇を学習しました。」「その学習では〇〇がわかりました。」「今日は〇〇を学習すると思います。」「から授業を始め、子どもが主体的に問題解決に向かっていく構えを作るものです。もう一つの特徴ある取り組みが「しゃべり場」です。『聴くことは優しさ』を合言葉に、話し手に対し、相手を見たり、うなずいたり、言葉かけ（なるほど）などを行ったりして応えます。話し手も相手意識をもって、伝わるように自分の思いを伝えるようにします。今回の動画では、社会科の課題選択学習スタイルでこれらを実践している5年生のようすをお伝えします。自分で学習を計画し、課題が解決した子は発展学習に進むという点では、自由進度学習スタイルの要素も柔軟に採り入れていきます。子どもたちは、意欲と見通しを持ち、例え担任が不在の自習であっても、自ら計画して学びに集中して取り組んでいました。



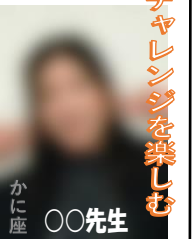
No.18&19

今回は、1、2、5、6年生に楽しい英語を教えてください



1の1授業

一方、子どもたちとお話しすることが大好きで、この仕事を始めたという〇〇先生。96年にフィリピンから日本に



3の1授業

チャレンジを楽しむ

12月の主な行事

- 9日 短縮日課スタート（6校時×）
- 10日 短縮日課（木曜日課）
- 11日 短縮日課（木曜日課）
- 12日 スクールコンサート（11時～）
- 13日 短縮日課（木曜日課）
- 24日 終業式
- ※1月8日 3学期始業式

らっしゃいました。日本に来た時、周囲の方に優しく接していただき、日本人って優しいと感じていたそうです。食事の後に「おなか 大きい！」とアピールして周囲は皆びっくりだったそうです。最近、オフの時間などにプールで泳いだり歩いたりして、リラクセスしながら運動するのが好きだとか。今日も稲佐小で元気に外国語のレッスン。そのたびに、稲佐っ子から最高の笑顔もらい、エネルギーをチャージしているのだとか。

皆さん、レッツ エンジョイ イングリッシュユ

ケセラセラ

先日、数名の児童と一緒に中学校を訪問する機会がありました。教室で真剣に授業を受けたり、運動場で楽しそうにエクササイズしたりするなど、活き活きとした中学生徒の様子がありませんでした。教室見学中にふと「いなさの風16号」で書いた安住アナによる福山雅治さんインタビューを思い出しました。「ベートーベンなどの肖像画の中に僕の肖像画も並べていただいていた時期があったと聞いています。聞いてます！（福山）お願いして音楽室を見せていただくと、ありました！バツハ先生の隣で、ギターを抱えている若かりし日の彼の姿でした。隣の吹奏楽部が使用している部屋には、彼が吹奏楽部のために送ってくれたお花の飾り札と部員と一緒に映した記念写真が飾られていました。稲佐小の職員来賓玄関にも彼のサインと学校紹介サイネージがあります。クラウドファンディング等で玄関に銅像なんてあると話題になるかなあ。

